

木村学教授退職記念シンポジウム 沈み込み帯テクトニクス学の未来



2016年3月3日(木) ~ 4日(金)

東京大学理学部1号館 小柴ホール
(本郷キャンパス)

<< 3月3日(木) >> 8:30 開場 8:55 開会挨拶

- | | | |
|---------------|--------|---|
| 9:00 - 9:35 | 橋本 善孝 | 陸上付加体における古応力変化と地震サイクル |
| 9:35 - 10:00 | 佐藤 活志 | 陸上付加体の小構造から探る古応力・摩擦係数・流体圧比 |
| 10:00 - 10:25 | 北村 有迅 | プレート境界断層の不均質性と非対称性 |
| 10:45 - 11:10 | 山本 由弦 | 房総半島付加システムの発達過程と付加間欠時期 |
| 11:10 - 11:35 | 山口 飛鳥 | 日本海溝の陸上アナログとしてのジュラ紀付加体研究:
遠洋性珪質堆積物の続成過程に注目して |
| 11:35 - 12:10 | 氏家 恒太郎 | Slip to the trench in subduction zones |
| 13:40 - 14:15 | 木村 学 | 時空間シームレス沈み込みダイナミクスへの挑戦 |
| 14:15 - 14:40 | 木下 正高 | 巨大地震発生帯周辺の熱構造と地震切迫度 |
| 14:40 - 15:05 | 斎藤 実篤 | 白亜紀における太平洋プレートの沈み込みと Gondwana 大陸東縁の分裂 |
| 15:05 - 15:30 | 辻 健 | 地震波でみる地震断層 |
| 15:50 - 16:15 | 浜橋 真理 | 沈み込み帯前弧ウェッジの岩石物性を支配する地質過程 |
| 16:15 - 16:40 | 桑野 修 | 巨大砂箱実験 |
| 16:40 - 17:05 | 坂口 有人 | ストレスが開く未来 |

<< 3月4日(金) >> 9:00 開場 9:25 開会挨拶

- | | | |
|---------------|-------|--|
| 9:30 - 10:05 | 亀田 純 | 断層粘土の物理化学的なふるまい |
| 10:05 - 10:30 | 片山 郁夫 | 粘土鉱物の摩擦特性と沈み込みプレート境界地震の関連性 |
| 10:30 - 10:55 | 濱田 洋平 | モノからせまる断層地震学 |
| 10:55 - 11:20 | 伊藤 喜宏 | 海底観測に基づくゆっくり地震と巨大地震の関係に関する一考察 |
| 11:40 - 12:05 | 北 佐枝子 | 衝突帯と沈み込み帯の地震テクトニクス
-地震波速度構造と減衰構造からのアプローチ- |
| 12:05 - 12:30 | 安藤 亮輔 | フィールドで見た、断層の物理 |
| 12:30 - 13:05 | 井出 哲 | KANAMEと微動とプレート断層 |

- ・ シンポジウムに引き続き3月4日(金)15:30より木村教授の最終講義が小柴ホールで開催されます。
- ・ 入場は無料です。